

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ナウ

Network Now

2026 No.601

1 / 1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第60回大韓民国放射線士協会(KRTA)学術大会 および第32回東アジア学術交流大会(EACRT) 開催される

2025年11月8日(土)、韓国・ソウル市のCOEX Magok Convention Centerにおいて、第60回大韓民国放射線士協会(KRTA)学術大会と第32回東アジア学術交流大会(EACRT)が併催されました。本大会は、日本、韓国、台湾を中心に東アジア地域の診療放射線技師が参加し、教育・研究・臨床の最新動向を共有するとともに、相互理解を深めることを目的として開催されたものです。

会期中には、International Sessionが設けられ、タスク・シフト/シェア、AI技術の活用、人材育成、医療安全などをテーマに、各国の演者により講演・討議が行われました。KRTA学術大会としては、韓国国内の診療放射線技師のみならず、アジア各国からの参加者も多数加わり、国際色豊かな活発なセッションとなりました。

本大会には、本会からも役員および会員が参加し、日本における告示研修やキャリア開発の取り組み、業務拡大の現状などについて報告し、活発な意見交換が行われました。

今回の併催は、昨年、台北で開催された第31回EACRT代表者会議において、第32回EACRTを韓国で開催し、KRTA第60回記念大会と同時開催とすることが合意されたことを受けて実現したものです。2026年には第33回EACRTが日本・山形市で開催される予定であり、本会は今後もアジア諸国との連携を継続し、国際的な学術交流を通じて診療放射線技師の専門性向上と放射線医療の発展に貢献してまいります。



第41回放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会(オンライン開催)について

第41回放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会を、オンライン(e-ラーニング)で開催しますのでご案内致します。

- 講習会名：第41回放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会(オンライン開催)
- 日程(予定)：2026年2月5日(木)から3月5日(木)まで
- 募集期限：2026年1月26日(月)正午まで
- 募集サイトURL：<https://forms.gle/wqHh2nCLBck6BSiu8>
- 受講料：10,000円(テキスト代を含む、消費税込み)



- 本件に関するお問い合わせ：「第41回放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会」は日本病院薬剤師会が担当し、講習会の運営事務については山代印刷株式会社が代行致します。ご不明な点があれば下記までお気軽にお問い合わせください。

第41回放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会 運営事務局 山代印刷株式会社 担当：湯下
TEL：075-441-8177 FAX：075-441-8179 E-mail：guideline@yamashiroprint.co.jp URL：<http://www.yamashiroprint.co.jp/>

INFORMATION

一般社団法人日本画像医療システム工業会 (JIRA) 主催 2025年度 画像医療システム産業研究会 開催される (Web開催)

2025年11月11日(火)から20日(木)にかけて、一般社団法人日本画像医療システム工業会(JIRA)主催 2025年度 画像医療システム産業研究会がオンライン開催され、初日に本会から上田会長が登壇し、「X線発見130周年・CT国内稼働50周年～診療放射線技師の歩みと共に～」をテーマに講演致しました。本研究会は、立位CTやフォトンカウンティングCTなど、新たな画像診断装置の登場に加え、AI・LLMを用いた診断補助や業務支援など、急速に進化する画像医療の現状と将来を多面的に取り上げており、X線撮影からCT導入に至る歴史を振り返りながら、診療放射線技師が技術発展と臨床現場を結び、画像診断の質向上に寄与してきた歩みが示されました。併せて被ばく低減や画質の最適化、検査プロトコルの標準化など、現場で果たしてきた役割が紹介されました。また次世代CTやAI技術の発展により、診療放射線技師が果たすべき役割がさらに広がること、産業界・アカデミア・医療現場の連携が今後の発展に不可欠であることが強調されました。

本研究会は、次世代の画像医療の方向性を共有する有意義な機会となりました。

2025年度 画像医療システム産業研究会
X線発見130周年・CT国内稼働50周年
そしてその先へ

オンライン開催 プログラム

11/11 (火) 18:00~18:40	X線発見130周年・CT国内稼働50周年 ～診療放射線技師の歩みと共に～ 日本診療放射線技師会 会長 上田克彦 先生
11/12 (水) 17:00~17:40	X線胸部画像診断へのAIの活用 稲橋予助 先生 聖十字病院 放射線診療部長 黒崎 敦子 先生
11/13 (木) 18:30~19:10	立位CTが拓く新たな臨床的可能性 慶應義塾大学 医学部 放射線科学教室 教授 陣崎 雅弘 先生
11/18 (火) 18:00~18:40	Photon Counting CTが臨床にもたらすインパクト 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻生体物理学講座 教授 大西 裕満 先生
11/19 (水) 18:00~18:40	検診における低線量CTの活用と今後の発展について 日立製作所 日立健康管理センター 主任 中川 徹 先生
11/20 (木) 18:00~18:40	診断業務フローへの生成系AIの活用 国立がん研究センター 研究所 医療 AI 研究開発分野 分野長 浜本 隆二 先生

参加費 JIRA会員・医療従事者・アカデミア・行政関係者：無料
JIRA非会員：5,500円(全席席一括、税込)

申込締切(参加費支払期限)：2025年10月31日(金)
申込URL：https://jira.kwcs.com/realtime.com/course/jira20254/home
お問い合わせ：JIRA事務局 seminar_biz2025@jira-net.or.jp

主催 **JIRA** 一般社団法人日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Diagnostic Systems Industry Association

ワクチン筋注行為実技研修に関するご案内

日本診療放射線技師会(JART)では、ワクチン筋注に対応するための「オンデマンド講習」と「実技講習会」を実施します。実技講習会への参加は、オンデマンド講習修了者が対象です。また講習修了者には、将来の出動要請に対応可能かの登録をお願いする予定です(任意・変更可)。

この実技講習会の際に利用するファントムの装着方法を紹介する動画をアップしました。

実技講習会実施主体となられる方は開催前に必ずご確認ください。

※この講習会を修了しても、日常診療でワクチン接種や筋肉注射が可能になるものではありません。

【筋注ファントム装着 説明動画】

<https://youtu.be/NPIDIdbXXtw>

【関連動画(予習用)】

ワクチン筋注実技講習会・「説明プレゼンテーション動画」

<https://youtu.be/A2Yaz69NUv0>

ワクチン筋注実技講習会・「実演Youtube動画」

https://youtu.be/eZleWpH_Yes

【基礎講習会修了確認方法】

※実技前に下記の1)または2)の方法で、JARTIS画面でオンデマンド講習が修了していることを確認します。

1) 携帯でJARTISにログイン後、左上の横3本線から「ワクチン筋注行為に関する講習会」をタップ

オンデマンド受講修了表示案内_スマホ表示版

<https://www.kwcs.jp/jcrt41/files/onde-annai-smp.pdf>

2) PCでJARTISにログイン後、最上段タブにある「ワクチン筋注行為に関する講習会」から画面をプリントアウトした紙を持参
オンデマンド受講修了表示案内_用紙プリント版

<https://www.kwcs.jp/jcrt41/files/onde-annai-print.pdf>

【HP掲載会告】 2025.8.5 掲載

https://www.jart.jp/news/topics/20250805_1566.html

【筋注行為開催要項等】

ワクチン実技講習会関係書類・書式等一式v1.1.pdf

<https://www.jart.jp/docs/ワクチン実技講習会関係書類・書式等一式02最終確認%201.pdf>

【お問い合わせ および実技修了者の名簿送信宛先】

gensai@jart.or.jp

(2025年11月11日現在)

INFORMATION

2025年度 がん対策委員会 Webセミナー 「治療を“選ぶ”医療へ～Shared Decision Making (SDM)に関わるには～」開催される (Web開催)

2025年11月16日(日)に開催された2025年度がん対策委員会Webセミナーでは、患者参加型医療とshared decision making (SDM、共同意思決定)をテーマに、医師、看護師、診療放射線技師、企業団体の視点から講演が行われました。

医師からの講演では、患者参加型医療は医療安全に直結し、医療の複雑化において、患者がさまざまな情報を理解し、意思決定に関わることが安全確保の重要要素であると示されました。看護師は治療前から治療後まで患者の価値観や不安を把握し、継続的に意思決定を支援する役割を担うとされました。診療放射線技師は体位保持や呼吸管理などの場面で、患者の

理解と自己効力感を高める具体的な関わりを紹介しました。企業団体の講演では、治療と就労の両立支援の課題が示され、併せて厚労科研で実施したアンケートより、自身の治療を受ける上での判断に、他の患者からの治療経験談が影響している可能性も示されました。また医師が複数の治療法などについて説明を行ったとしても、患者は選択肢を提示されていないと感じているなどのギャップについても議論が行われました。

総じて、SDMは医療者が最善の選択肢を提示しつつ、患者の価値観を踏まえて共に治療方針を決定するプロセスであり、多職種連携と情報の見える化が鍵であると結論付けられました。
(がん対策委員会 太田 誠一)

2025年度 第1回STAT画像所見報告セミナー 開催報告 (Web開催)

STAT画像所見報告委員会 委員長 木暮 陽介

2025年11月7日(金)に、第1回STAT画像所見報告セミナーをWebで開催しました。テーマは「腹部の出血」で938人の応募がありました。

初めに奥州市総合水沢病院の高橋伸光委員より、「放射線科医師が求める内因性腹部出血のSTAT画像所見 CT編」と題して、内因性腹部出血の原因となる大動脈瘤破裂、肝癌破裂、内臓動脈瘤破裂、異所性妊娠を挙げて、画像所見の特徴について解説していただきました。

続いて国立がん研究センター中央病院の田中善啓委員からは、「放射線科医師が求める外因性腹部出血のSTAT画像所見CT編」と題して、受傷機転から導く救急撮影推論を軸に、CT検査の最適化(プロトコル・カバレッジ)について解説していただきました。また腹腔・後腹膜・骨盤での活動性出血・



Web画面より

左上は司会の片桐江美子委員、右上は木暮陽介委員長、左下は演者の高橋伸光委員、右下は演者の田中善啓委員

血管損傷を見極め、STAT画像所見報告の要点と落とし穴を整理し、TAT (Turn around Time) 短縮とIVR/手術判断・迅速共有に直結させる実践的指針について解説していただきました。

Instagramを始めました!

このたび、本会の公式SNSとしてInstagramを開設致しました。

Instagramでは「JART.Tokyo」と検索してフォローしていただけると嬉しいです。

また本会ではFacebook、LINE、YouTubeでも情報を発信しています。診療放射線技師の皆さまに役立つ情報をお届けしますので、ぜひご登録ください。

各SNSの登録方法については、下記よりご確認ください。

・日本診療放射線技師会公式SNS.pdf <https://www.jart.jp/docs/日本診療放射線技師会公式SNS.pdf>

第20回九州放射線医療技術 学術大会 in鹿児島 開催報告

第71回九州放射線技師学術大会 第74回日本放射線技術学会九州支部学術大会

第20回九州放射線医療技術学術大会 副実行委員長
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会長
大迫 俊一

第20回九州放射線医療技術学術大会が、2025年11月1日(土)・2日(日)の2日間、カクイックス交流センターで開催されました。本大会は節目となる第20回記念大会として「Strategy～次世代医療に活かされる放射線技術学～」をテーマに掲げ、一般研究発表166題、参加者は2日間で744人と大変多くの皆さまにご参加いただき、鹿児島の活気ある雰囲気の中、盛況のうちに開催されました。

特別講演Ⅰでは、小林泰之先生より「すべてのひとが生成AIを使いこなす世界を創る」をテーマに、生成AIが医療現場にもたらす変革と、診療放射線技師がテクノロジーと協働し価値を発揮する未来像について講演がありました。特別講演Ⅱでは、宇都由美子先生より、2040年を見据えた医療・福祉サービス改革とDXの位置付けが示され、電子カルテ情報の共有や業務効率化に関する具体的な展望が紹介されました。特別講演Ⅲでは、乳がん経験者である三好綾さまより、患者の立場から医療者に望む姿勢について具体的な体験を交えて語られ、技術進化の時代だからこそ必要となる“寄り添いの医療”を再認識する機会となりました。

シンポジウムでは、CT技術、放射線治療計画、AI教育、サイバーセキュリティーの4分野から最新動向が紹介され、AI再構成やフォトンカウンティングCT、自動治療計画、AIリテラシー教育、診療継続性を守るためのセキュリティー対策など、臨床現場に直結する内容が議論されました。



JART 上田会長のごあいさつ



ワクチン筋注行為に関する実技講習会

本大会では、実行委員特別企画として初めて「ワクチン筋注行為に関する実技講習会」を開催し、2日間で160人が受講しました。本講習会に向けてファントム腕を用いた看護部との事前シミュレーションや動線設計、実施手順書の作成などを行ったことで、初開催ながらも円滑に実施することができました。

本大会の成功を支えてくださった全ての皆さまに、心より感謝申し上げます。今回得られた成果を次世代医療への実践に生かし、引き続き地域医療と放射線技術の発展に貢献してまいります。



受付の様子



実行委員の皆さん

第17回中部放射線医療技術 学術大会 (CCRT2025) 開催報告 (ハイブリッド開催)

第59回日本放射線技術学会中部支部学術大会 第33回中日本地域放射線技師学術大会

一般社団法人三重県診療放射線技師会
会長 武藤 裕衣

2025年11月15日(土)・16日(日)の両日、鈴鹿医療科学大学で「Useful for Tomorrow's Practice!」をテーマに、第17回中部放射線医療技術学術大会を開催しました。162演題の一般発表や多彩なセッションを通じ、日常の臨床に直結する知見と刺激を交換する場となりました。参加者数は総数935人(うちオンデマンド参加63人)でした。ご参加くださった皆さまに心より御礼申し上げます。

大会終了後には「スタッフのもてなしに目を見張った」「参加者もスタッフも笑顔が絶えず、会場全体が明るかった」「新しい企画が多く、中日本の診療放射線技師の未来が明るく感じられた」など、多くのうれしい声を頂きました。こうした言葉は、準備に尽力した実行委員にとって何よりの励みであり、会場で汗を流したスタッフ一人一人の思いが参加者に届いたことに深く感謝致します。

運営面では、スタッフがそろいのパーカーを着用し、ステージ名や幕間スライドのBGMなどにも工夫を凝らしました。統一された装いは視認性を高めるだけでなく、来場者に安心感を与え、現場のチームワークを象徴することを意図したものです。

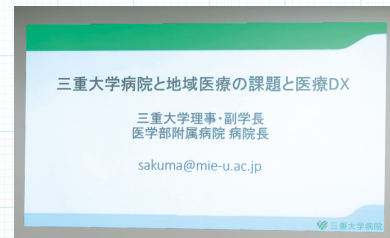
今回、私たち実行委員会が目指したのは、学術の深さとともにフェス(FES)のような多幸感あふれる学会空間の創出でした。セッション合間の会話、企業展示ブースでの発見、謎解きの答えが分かったときの笑顔といった細部の積み重ねが、来場者が肩の力を抜いて学べる場を創る——と考えていました。その狙いは多くの場面で達成できたと感じています。

天候にも恵まれましたが、何より印象的だったのは、学会を成功させたいと願う実行委員の思いと、学会を楽しみたいと足を運んでくださった参加者のエネルギーが掛け算となって現場を盛り上げたことです。主催側と参加側が一体となって場を創り上げる力を改めて実感しました。

プログラムでは、三重大学理事・副学長 医学部附属病院長 佐久間肇先生をお招きしてご講演いただきました。またJART/JSRT合同特別企画「Open Talk Session」ではJART上



実行委員と当日実行委員の皆さん



田克彦会長、JSRT石田隆行代表理事をお迎えし、若手・学生パネリストと率直な議論が交わされ、これからの担い手に向けた期待と実践のヒントが共有されました。

最後に、本大会を支えてくださった全ての方々に改めて感謝申し上げます。前年開催地であった岐阜県の皆さまからのご助言、運営スタッフの協力、発表・参加してくださった一人一人の熱意があってこそこの成果です。本当にありがとうございました。

本大会で生まれた熱気と出会いはここで終わりません。今回は富山県へとバトンが渡ります。今回の経験が次につながり、中日本地域の放射線医療の質をさらに高める一助となることを願い、開催報告と致します。ありがとうございました。



参加者グッズ(シリコンバンド)

2025年度 公益社団法人日本診療放射線技師会 北海道地域学術大会 開催報告 (ハイブリッド開催)

一般社団法人北海道放射線技師会 西原 徹

2025年11月22日(土)・23日(日・祝)の2日間にわたり、札幌医科大学臨床教育研究棟講堂で、Zoom ウェビナーを併用したハイブリッド形式で北海道地域学術大会を開催致しました。参加者数は1日目：現地参加88人、Web参加161人(合計249人)、2日目：現地参加66人、Web参加126人(合計192人)でした。

【1日目】 会員による演題発表を10演題実施し、優秀演題を選出の上、学術奨励賞の表彰を行いました。

続く教育講演では、国立がん研究センター中央病院の田中善啓先生をお招きし、「STAT画像ガイドラインの軌跡と進化—臨床現場を変革する診療放射線技師の新しい役割」と題



田中善啓先生

してご講演いただきました。JART STAT画像報告委員会(現STAT画像所見報告委員会)の立場から、非常に分かりやすく実践的な内容をご紹介いただき、会場からも多くの質問が寄せられましたが、いずれも丁寧にご回答いただきました。

また特別講演では、京都府立医科大学大学院医学研究科 教授であり、日本放射線科専門医会・医会理事長でもある山田恵先生に、「タスクシフトに際し診療放射線技師に求め



山田 恵先生

ること」と題してご講演いただきました。放射線科の視点から、診療放射線技師に対する期待や今後の展望について、貴重なご意見を伺うことができ、参加者一同、大変有意義な時間を過ごすことができました。



【2日目】 北海道放射線技師会の部会合同企画として、「STAT画像報告の第一歩とそのさらに向こうへ—PLUS ULTRA—」と題したセッションを実施しました。

頭部・頸部領域部会、心・大血管領域部会、腹部領域部会より部会員の皆さまにご登壇いただき、STAT画像報告におけるポイントや注意点、自施設での取り組みなどについてご解説いただきました。続くシンポジウムでは、会場およびWeb参加者から多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。時間の都合上、当日中にご回答できなかったご質問については、後日、ホームページに掲載致しました。

今後も、多くの会員に参加していただけるような企画を考えていきたいと思っております。



シンポジウムに登壇された部会員の皆さま

(右から上田さま、土門さま、高田さま〔頭部・頸部領域部会〕、大須田さま、三浦さま〔心・大血管領域部会〕、上野さま、阿部さま〔腹部領域部会〕)

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(手続きについて→各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

レントゲン週間 イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW. C. レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。

HOKKAIDO

【札幌放射線技師会】

令和7年度 北海道医療技術者団体連絡協議会 パネル展

- 日 時：2025年8月30日(土)
 - 開催場所：札幌駅地下歩行空間 チ・カ・ホ
 - 参加者：運営20人、会員2人、一般80人
- 北海道12の医療技術者団体による合同のパネル展。各団体・職業について、簡単な説明を記載したパネルを設置。来場された一般の方への職業や業務内容に対する説明。多職種同士の交流の場でもあります。

(北海道放射線技師会 阿部 恭兵)



【旭川放射線技師会】

令和7年度あさひかわ健康まつり

- 日 時：2025年9月23日(火・祝)
 - 開催場所：道北アークス大雪アリーナ
 - 参加者：運営100人、会員9人、一般236人
- (北海道放射線技師会 畑中 康裕)



【釧根放射線技師会】

くしろ健康まつり 2025

- 日 時：2025年10月5日(日)
 - 開催場所：釧路市観光国際交流センター
 - 参加者：会員5人、一般96人
- コロナ禍の後3年目のブース出展で、主に医療被ばく相談、エコー体験、CT画像紹介を行いました。ブースでは待ち時間が出るほどとても盛況で、多くの方に来ていただきました。またグッズも好評で、ウエットティッシュやマグネットクリップをもらって喜ばれている方が大勢いらっしゃいました。

(北海道放射線技師会 木内 良次)



INFORMATION

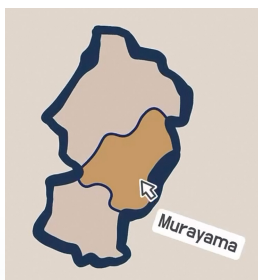
第4回 第42回日本診療放射線技師学術大会

山形への道 Go To YAMAGATA

副実行委員長 山澤 喜文
(山形大学医学部附属病院)



村山地区のご紹介



第4回山形への道は、山形県のほぼ中央に位置し、大会開催地がある山形市を中心とする村山地方をご紹介します。

まずは山形県を代表する観光名所「山寺」。正式には「宝珠山立石寺(ほうじゅさんりっしゃくじ)」と言い、860年に慈覚大師・円仁が開いた天台宗の名刹です。比叡山延暦寺から分けられた「不滅の法灯」が今も大切に受け継がれ、この「灯」は今回の大会テーマ「新たな潮流 紡ぐ灯」にもつながっています。また松尾芭蕉が「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」と詠んだ場所としても有名で、千段の石段は登るのは少し大変ですが、途中には開山堂や納経堂などのお堂があり、山頂の五大堂に着くと、眼下に広がる山形盆地の絶景が疲れを吹き飛ばしてくれます。

▶**アクセス**：車で山形市内から約30分。「山形」駅からJR仙山線で約15分の「山寺」駅下車、徒歩約10分で参拝道の入口に着きます。

続いては「上山城(かみのやまじょう)」。戦国時代には最上氏の南の要衝として、米沢の伊達・上杉氏との攻防の舞台となった「羽州の名城」です。江戸時代には上山藩の居城として栄えましたが、元禄時代に一度取り壊され、現在の天守は1982(昭和57)年に再建されたものです。天守閣からは上山市街と雄大な蔵王連峰を一望でき、殿様気分でご城下を見渡せます。

▶**アクセス**：車で山形市内より30分ほど、もしくは「山形」駅からJR奥羽本線に乗り約15分で「かみのやま温泉」駅へ。駅からは徒歩約7分で到着します。

続いては「蔵王温泉」。NHKのテレビ番組「プラタモリ」でも紹介されたこともあるこの温泉は、開湯から1900年の歴史を誇り、強酸性の硫黄泉であることが特徴で、美肌効果が高い「美人づくりの湯」として有名です。温泉街には3つの共同浴場、3つの足湯、5つの日帰り温泉施設があり、宿泊のお客さまだけでなく、どなたでも蔵王のお湯を楽しむことができます。冬にはスキーや樹氷観賞を目的に多くの観光客が訪れ、雪国ならではの幻想的な風景と温泉のぬくもりを同時に楽しめる、四季折々に魅力あふれるリゾート地です。

▶**アクセス**：車で山形市内から約30分。「山形」駅から山交バス「蔵王温泉バスターミナル」行きに乗車し、約40分で到着します。

この他、村山地方には、大正ロマン漂う「銀山温泉」や、将棋の街、天童市にある「天童温泉」など、個性豊かな温泉地が点在しています。温泉に漬かりながら、おいしい山形の料理と地酒を味わい、ぜひ、日ごろの疲れを癒やしませんか？ 皆さまのご来県を心よりお待ちしております！



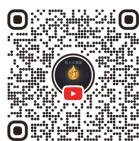
山寺(立石寺)



上山城



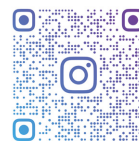
蔵王温泉 大露天風呂



JCRT42
YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/@JCRT42>



山形県放射線技師会
Facebook
<https://www.facebook.com/profile.php?id=61574051232747>



山形県放射線技師会
Instagram
<https://www.instagram.com/yamahogi/p/>



第42回 The 42nd Japan Conference of Radiological Technologists

日本診療放射線技師学術大会

第33回 東アジア学術交流大会

The 33rd East Asia Conference of Radiological Technologists (EACRT)

新たな潮流 紡ぐ灯

人とAIがもたらす放射線技術の未来

JARTスローガン

安全と信頼、診療放射線技師の使命と責任を果たそう



日時

2026
9/11 Fri - 13 Sun

場所

山形ビッグウイング
(現地開催+オンデマンド)

立石寺 (山寺) 不滅の法灯

会長

上田 克彦
公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 山形県放射線技師会

大会長

鈴木 幸司
一般社団法人 山形県放射線技師会 会長

後援 | 厚生労働省 (予定) / 公益社団法人 日本放射線技術学会
山形県 / 山形市 (予定)

大会事務局

一般社団法人山形県放射線技師会
〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2
山形大学医学部附属病院放射線部内
Tel : 023 (628) 5786 Fax : 023 (628) 5799
E-mail : 42jart@gmail.com

自動運転



近年、自動運転の技術が発達しており、時折ニュースなどでも情報が伝わってくる。電車の自動運転では「ゆりかもめ」が有名だが開業は1995年で、歴史的には神戸の「ポートライナー」が世界に先駆け1981年には開業している。開業当初から無人での運行を実施しており、世界的な先駆者である。これらは専用軌道を持ち外部要因が少なく、自動化に適した環境にあるため、高いレベルでの自動運転が実現している。また海外ではシンガポールの地下鉄MRT (Mass Rapid Transit) も自動運転を行っている区間があるが、その昔、乗車したときに「ポートライナー」などと比べてとても速い速度での運行に驚いたことがある。

自動運転も進化を遂げ、AIの導入により一般道で自動車でも実現可能となりつつある。自動運転の「レベル」はSAE (Society of Automotive Engineers) が定めたレベル0からレベル5までの6段階で評価される。レベル0は運転支援なしで自動ブレーキの警告など、レベル1はオートクルーズやレーンキープアシストなどの単独機能が該当する。レベル2は部分運転自動化で、限定領域において加減速と操舵の両方を支援する。主体はドライバーであり、緊急時は即座に運転を引き

継ぐ必要がある。レベル3は条件付き自動運転で主体はシステムとなる。特定の条件下でシステムが運転を代行するが、システムが要請した際はドライバーが運転を引き継ぐ必要がある。レベル4は特定条件下における完全自動運転で、システムが全ての動的運転タスクと対応を行う。日本でも2023年4月の道路交通法改正を受け、福井県永平寺町でレベル4の無人移動サービスが開始されている。レベル5は完全自動運転であらゆる状況下でシステムが運転を代行する。テスラの納車を全て自動運転で行ったというニュースもあったが、あくまでもこの事例は特定の技術実証であり、すぐに実行可能ということではない。とはいえ実現まではすぐそこまで来ているのはまぎれもない事実で、そのような自動車が走る未来を考えるとワクワクする。これからは自動運転に限らず、AIを正しく使って便利な時代をつくっていかねばと思う。わが地元でも、お城の周りを走行するバスがレベル2で運行されているが、レベル4への実現に向けて実証実験中である、レベル4で運行されるようになったら一度体験してみたいと思うこのごろである。

(文責：西小野 昭人)

1月・2月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- マネジメント研修会 (マネジメントラダーLv3) : Web開催 2026年1月17日(土)
- マネジメント研修会 (マネジメントラダーLv4-1) : Web開催 2026年1月18日(日)
- 認定資格試験：全国のCBTテストセンターのパソコンで試験を実施 (テストセンター一覧：<https://cbt-s.com/examinee/testcenter/>) 2026年1月18日(日)まで実施
- 医療画像情報精度管理士セミナー : Web開催 2026年2月19日(木)
- 放射線取扱主任者定期講習 : 東京 2026年2月20日(金)
- 生涯教育セミナー (SGRT実践編) : 栃木+ Web開催 2026年2月22日(日)

■ 告示研修 (実技研修) / 業務拡大に伴う統一講習会：
本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム (JARTIS) をご参照ください。

[e-ラーニング (ストリーミング方式)]

- 医療放射線安全管理責任者講習会 2026年1月25日(日)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2026年3月1日(日)まで何度でも視聴いただけます。
定員に達し次第、申し込みを締め切り
- 死亡時画像診断 (Ai) 研修会 ※2026年2月2日(月)午後3時まで視聴可能 (予定)。
お問い合わせは日本医師会 医事法・医療安全課 03-3942-6506まで。
- 医療安全管理者養成研修 集合研修：2026年2月8日(日) 【オンライン演習】
※集合研修の受講は、e-ラーニング (36時間) 【受付終了】 を全て受講した者に限る。
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修 (在宅) 2026年1月25日(日)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2026年3月1日(日)まで何度でも視聴いただけます。
- 告示研修 (基礎研修) 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。

■ オンラインセミナー (在宅)：本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム (JARTIS) をご参照ください。

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日 (7月13日) および年末年始 (12月29日~1月3日) は執務致しません。